



わかば

ワカバ会

50 号

わかば50号記念号

東京都立三田高等学校
同窓会

社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

時間

午前10時～午後4時

休日

土曜・日曜・祝祭日

三田高校上空よりの航空写真 写真提供：恵雅堂出版（新宿区原町）

会長インタビュー	2
ホームカミングデー	2
先生方の近況	3
特集 第六通信	4
私の近況	6
学校だより	7
ワカバの輪	8
情報ひろば	10
OB会連絡先	10
ワカバ会行事に参加して	11
これからのワカバ会行事	12
総会報告	13
決算・予算	13
理事会報告	13
委員会報告	12
支部連絡先	15
追悼	15
三田・みる・スポット	16
事務局だより	16
編集後記	16

目次



三田高校

三田国際ビル

今回から秋号にも維持会費の払込票を同封させていただくことになりました。
既に御納入いただいた皆様には、ご容赦いただきたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 小野会長に聞く ◆◆◆

新世紀のワカバ会

会員の創意で
より活発な活動を



今年度の役員改選で三期目となった小野紘一ワカバ会会長に、新世紀のワカバ会の課題や抱負などを聞いた。

「ワカバ会も六十四周年、色々な意味で転換期にあるようです。会長の抱負を聞かせて下さい。」

小野 理事会で会長に推挙されましたので、今後三年間、ワカバ会を皆さんと共に順調に運営していきたいと思っています。なるべく多くの会員が積極的に活動に加わり、ご意見を寄せてくださることを期待しています。近年、ワカバ会の最大の議決機関である総会への参加者が減ってきたのが大きな問題です。

三田高校の初期の卒業生が七十歳を超えていくわけですから、従来多かった第六高女の卒業生の参加がめっきり減ってきました。また、ワカバ会会員の三田高校教諭がいなくなり、卒業直後の若い会員を総会に引っ張って来ていただけなくなりました。一方、卒業生の多くが大

学に進むので最終卒業校でない高校の同窓会活動に関心が薄いなどの理由が挙げられます。

もつと多くの方にワカバ会に関心を持ち、母校訪問の機会を持つて頂きたい。そこで理事会では来年度の総会から「ホームカミングデー」を設けて特定の年度の方に特にお知らせし同期会やクラス会に利用して頂けるようにしました。

「ワカバ会の財政問題も厳しくなっているそうですね。」

小野 難問を抱えています。ワカバ会は社団法人ですから、財政は預金などの基本財産と、会員の皆さんから毎年頂く維持会費、山荘と駐車場など独自の事業収入に支えられています。これまで長い間、基本財産の利子などで様々な活動や事業も比較的余裕を持っていたのですが、近年の経済事情から利子収入が望めなくなり、山荘経営も毎年赤字で駐車場収入などで補っています。今や維持会費が、総会や各種の企画、事業など活動の重要な資金源になっています。

約二万人の会員のうち四千人ほどが毎年納めてくださいますが、もつと多くの方の御協力が是非とも必要になっています。どうぞよろしく願います。

「軽井沢山荘の経営はユニークな事業ですが、費用もかかりますね。」

小野 夏季、七、八、九月の営業を

企業に請け負わせています。軽井沢は冬が厳しいので、毎年水道管の修理とか屋根の補修など山荘の維持管理には費用がかかります。その割に利用率が低調なので赤字が続いています。多くの方が積極的に利用して下さることを望みます。九月に理事会を軽井沢で開き、理事は自費参加して山荘の実態を視察することになっています。今のままでは近い将来、開設期間を短縮するとか、経営が立ち行かなくなる心配もあります。山荘経営の是非についても皆さんの御意見を頂きたいです。

「若い会員のために会長の横顔を少しお話し下さい。」

小野 私は昭和三十一年の三田高校第八回の卒業生です。高校生時代は数多い女性陣に圧倒されていました。中央大の法科を出て東京都庁に就職、三年後に辞めて司法試験を目指し、最初から弁護士を希望しました。今は母校に近い東麻布に事務所を置いています。会社倒産処理など民事が得意ですが、幅広い分野の仕事を手掛けております。

近年、司法制度の改革が議論されていますね。裁判の早期化、国民に開かれた制度には賛成ですが、日本人は本当のデイベートが出来ない人が多いので、陪審員制度の導入などは難しいと思います。

(平成十三年七月十日、東麻布の法律事務所にて、聞き手 広報委員会)

総会にホームカミングデーを創設

ワカバ会理事会は、毎年の総会をもっと多くの会員諸兄姉に楽しんでいただくために、次総会から「ホームカミングデー」を創設することに決めました。

今後毎年、卒業10年、20年、30年、40年、50年、60年、70年目の節目にあたる卒業年次の会員全員に秋の会報とともにお知らせをお届けします。毎年春の総会を、クラス会や同期会として活用していただき、旧交を温めるとともに、母校をたずねて現況を知る機会にもしていただくよう提案致します。ぜひ御活用下さい。幹事さんから事務局へ電話、FAXでの御連絡を歓迎します。2002年のホームカミングデーにあたるのは、1992(平成4)年(44回生)、1982(昭和57)年(34回生)、1972(昭和47)年(24回生)、1962(昭和37)年(14回生)、1952(昭和27)年(4回生)、1942(昭和17)年(第6、15回生)、1932(昭和7)年(第6、5回生)の各3月に卒業された方々です。

先生方の近況

(敬称略・順不同)

数学 石田 典昭

三田高校には八年間お世話になり、楽しい日々をすごすことができました。四月に雪谷高校に異動しましたが、蒲田の駅で三田の制服によく出会います。また、池上線では卒業生に声をかけられます。その度に、三田の良さを感触しています。

化学 高橋 慎吉

引退後は、年なりにのんびり生活しております。

絵画、音楽、俳句を楽しんでおります。

昨今のことから、何が起こるか分かりませんが、先ずはご安心下さい。

国語 川名 大

聖光学院高校にて元気で勤めております。

五月と六月の下旬に筑摩書房の「ちくま学芸文庫」から「現代俳句」(上下)二冊を出版いたします。

皆様のお役に立てれば幸いです。

物理 大角 孝

昨年はトルコ、今年は東欧と放浪の旅を楽しんでいます。

五月七日、成田発ウィーンに直行、直ぐにハンガリーの首都ブダペストに飛びます。三泊くらいしてウィーン経由で列車でザルツブルグ、インスブルックを訪ね、更に列車でチエコのプラハに行きます。出来ればそこからポーランドの古都クラクフ、旧東独のドレスデン、マイセンに行きたいとも思っています。最後はプラハからウィーンに飛び、そこから二十八日に戻ってくる予定です。

決まっているのは航空機だけ。七十六歳の挑戦です。元気で動ける幸せを本当に有難いことだと思っています。

英語 細田 健次

毎日、午前中は、興味のある専門書を読むこと、午後は家事手伝いや、気晴らしと運動を兼ねて外出が日課です。

三田の昔の卒業生にお会いしたいものです。

理科講師 田村 糸子

現在、多摩市にある永山高校に勤務しています。時々、東京タワーや高速道路がなつかしくなります。

主査 佐野 寛一

小生、現在は自家用の家庭菜園作り等をやりながら、地域の簡易水道組合(五二戸)の会計(無報酬)の仕事をやっています。

五月二十一日には、この過疎町に両陛下が御来町なされ、町営の「現代工芸美術館」で、手漉和紙の作業工程をご覧になれるそうです。(昼食共三時間)そして、富士川対岸の岩間駅より御召列車にてご帰京になられます。

事務長 岡本 秀男

今年五月で六十九歳になります。三十七年四月から数えて三十九年になりますが、今は横浜で元気に過ぎ行く日々を花と共に楽しんでいます。植木鉢も四百を越えました。今はバラが咲き始めました。サツキもそろそろ開き始めています。

家庭科 阿部 智子

私事、文京高校に転任し、二ヶ月目に入りました。まだまだ学校に慣れておりませんが、諸先生方から親切に声をかけてもらい、助けてもらいながら少しずつ仕事を進めております。

校舎もグラウンドも大きく明るくて、授業も大変楽しく、生徒と勉強に取り組んでおります。

保体 深澤 真澄

野津田高校で、三年生の担任と、男女のハンドボール部の顧問として、元気に過ごしております。

社会 金井 徳幸

現在は、中国の宋代の宗教社会についての研究に精出しています。

保体 大橋 京子

昨年停年を迎え、一年間日比谷高校の嘱託生活。この四月から財団法人・全国高体連の事務局が発足し、同じく日比谷高校星陵会館の中の事務局の一員として精出しております。

教員生活を離れ、高校生の体育活動を応援する立場も、仲々意義深いことと感じております。

化学 奥田 務

退職して早や一ヶ月弱の時が過ぎてしまいました。仕事にかまけて散らかし放題にしていた家の中の片づけも済んでいません。技術職十年、教職二十七年に続く「第三」の人生、意欲的に生きたいと思っています。多くの卒業生の皆さんの若さと意気に負けないように。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

特集

第六通信

感謝と共に

11才 山本 房子(熊野)

人生色々とは申せ私達年代の者は戦中戦後の苦難な時代を過ごした事だと思えます。主人は軍人でしたので終戦後は帰農者を五年し、その後学校給食が始まり厨房機械の営業を始めました。三十二歳で主人が亡くなりました。後家生活が始まり、その後会社を設立し三十五年の間頑張りました。数年前より会長になり快調な日々を過ごさせて頂いてあります。過ぎし日々を振り返り多くの御支援の御協力頂いたお陰で今日が有ることと朝夕感謝で一杯



平成13年3月20日 11回才組クラス会

でございます。しかし何としても第六の学生時代に受けた丸山校長先生初め担任の伊井先生初め諸先生方の実におびのびとした新教育を沢山に頂いたお陰で多々苦難を乗り越えて来られた事だと思えますと同時に実に豊かな思い出となっており、日々感謝の人生を過ごさせて頂いております。多謝

思い出すまに

11イ 古市美恵子(飯田)

昭和八年入学、此の年は開校十周年で記念式典、バザー等がありました。「腰をのぼして!」「胸をはって!」「あ」をひいて!」「ひざをのぼして!」「カカトからついて!」と言われ続けてやっと身についた歩き方。おかげで二年の適応遠足で川崎から日野までの十里を二回とも足の豆一つ作らず歩くことが出来ました。三年の時農園が出来た。その後は多摩川の両岸を歩く事になりました。校章が出来たのもこの年だったと思えます。一・五センチ位の小さな黄色の六弁のナデシコで、胸にした時の誇らしさは忘れられません。朝日に輝く真白な山の桜、満々と水を湛えたプール、何でもそろっていた体操場、

思い出は遠く懐かしい。今明るく楽しく充実した五年間を思い出しながら、概ね良好に此の年を迎えられた事に感謝致しております。

私にとつての第六時代

12イ 小島 幸子

通信簿がない。制服は夏冬両用、運動は選手を作つて対外試合はしない、神宮競技場での運動会。私の記憶が正しければ、これらの学生生活の原点がその後の私の生き方を支えていたのだと思う。丸山先生



平成13年の親睦会 毎年銀座で開いています

うのがよかったのか? 校長の理念? 何か書けと言われて書き出すと、私は改めて第六での五年間が原点で、その後の変化に富んだ人生を軌道修正しながらも、なんとか今日まで、心身共に健康で生きてこられたと傘寿を前にして思う。

懐かしい母校の行事

12ウ 居相智恵子(内海)

私も夏の行事に何回か参加しました。一年で富士登山、四年五年で中房の林間学校から燕岳・槍ヶ岳・大滝山から沢を下つて上高地へと本当に楽しい思い出ばかりです。戦前の事ですから、丸山先生は、女は嫁いだらなかなか旅行も出来ないからと、二年の時から泊まりがけの旅行に行かせて下さり、五年では山陰・九州・四国と、リュックを肩に揃いの置傘を持つて団体旅行をさせて下さいました。また、何と云つても庄巻は神宮外苑競技場での秋の運動会でした。全校生徒のピシッと揃った入場行進、五年生のメイポール等、数えたらきりがない行事の数々。生徒の良識の中での自由があり、素晴らしい学校に籍を置いた事を誇りに思っております。

学校時代はスポーツに明け暮れた私も今では好きな手芸等をして毎日を楽しく家族に囲まれて過ごしております。

わが青春に悔い無し

13-エ 長野 榮子(青島)

私が第六に入ったのは、昭和十年の春でした。丸山校長は「女性は、学校を卒業してお嫁に行つてしまえば、家庭に閉じ込められて何もできなくなる人が多いのだから、学生時代にできるだけの事をしておかなければならない」という信念の先生で、これを女子教育に全面的に実行された先生でした。私が卒業して六十年を経過した今もなお心に残っているのは、学校行事として海と山で思い切り遊べた事でした。夏の行事として、海は伊豆の三津浜、山は燕岳の中腹の中房の山小屋を選ぶ事ができました。言うまでもなく、私はこの両方を一年ごとに交互に選びました。

海の三津浜では、何キロだったかは忘れましたが、遠泳にも参加しましたし、山では、夜中にカンテラを持って燕岳に向かって出発し、早朝に頂上でご来光を拝んで帰ってきました。当時の女性は、今と違って良妻賢母が教育の目的で、登山とか海水浴などは卒業してしまえば殆ど縁の遠いものになつてしまうものでした。そんな時代に、これだけの体育に力を入れた教育をされた校長先生は偉大だったと思います。私なんかも、比較的開放的な生活ができた方ですが、それでもこの女学校時代が無かったらならば、大事な青春の思い出も半減する所だったでしょう。人生の夕暮れを迎える今になって、今更ながら、丸山校長の先見の明に敬意を表したく思っています。

思い出

13-ウ 油田富喜子(中里)

私共が第六高女で楽しくも意義ある女学校時代を過ごしましたのは、もう六十年も昔の話となりました。女子教育に大変ご熱心で当時としてはユニークな発想で御指導下さった丸山校長先生と諸先生のおかげで、女性家庭に入ると旅行もなかなか行けなくなるからと毎年



13回ウ組 喜寿の集い(帝国ホテルにて)

と毎年 修学旅行があり鹿 児島の果 てまで巡 ってきたま したり、 沼部の農 園で都会 育ちの娘 達に農業 の一端を 体験させ て下さり、 又私等世 田谷の奥

からの通学で時折朝遅刻しそうになると、山手線恵比寿駅で下車、先輩の方々と一緒にタクシーにとび乗り危くセーフで間に合いますやら、明朗な校風と共に愉快な思い出です。又N先生の、女性よ家庭の太陽であれ…とのご教訓に感動、その後の私の人生の指針となりました。現在は札幌に住み、母校を偲びつつ、ご繁栄をお祈りして居ります。

試験とプール

14-ウ 井上美砂子(深井)

私達の頃は定期試験というものはなかったので本当にのんびりとすごした五年間でした。

学籍簿に数学なり国語なり先に記入された先生の学課が優先にその日の試験の権利を持たれるので、他の学課は試験が出来ないのです。それに成績も希望者だけ、家にうすい箋に甲乙とだけ書いた紙を送ってもらっただけでした。

またあの時代には珍しい屋内プールがあつて冬でもボイラーをたいて使える温水プールがありました。しかし競争とか選手とかいうものをつくらない校長先生の方針でしたから入りたいたにプールに入つてプカプカ浮いていただけなのでした。他校と競争するとか泳泳するとかいう事はなかったのです。

生徒の議会と音楽会

15-イ 園部美佐子(斎藤)

「生徒の議会」……学校で級長副級長制が一般的だった時代に第六では各クラスに学芸部、整理部、体育部、園芸部に各二名、水泳部一名、会計係二名がいてクラスの仕事を分担した。学芸部の委員はさらに一年に何回か開かれた生徒の議会に出席する。クラスから提案する議題がある時は、五年生の議長が立つ講堂の壇上の大きなテーブルのわきにある小テーブルの前に立つて提案理由を説明し、議長は出席者にはかつて結論を出す。問題がある時は「これは職員会議にまわします。」という事で即決はしない。

私は戦後教職についてクラス委員、各種委員会、生徒会という学校の組織をみた時、これは第六時代に経験済みという感じで違和感はなかった。

「音楽会」……講堂で午前中は生徒の合唱や独唱など。中でも13回生の石井好子さんと砂原美智子さん(後のオペラ歌手)の独唱は女学生とは思えない発声や歌い方で会場を魅了した。午後はプロとして活躍中の卒業生を招いて独唱やピアノ演奏を鑑賞。特別出演として数学の高城先生が演奏会用の服

装に替えられて「ラ・カンパネラ」や「火祭りの踊り」などを弾いて下さり、そのすばらしさに感動したことを思い出す。

まさによき時代でありました。

第六から頂いたもの

14-エ 入江 弥生(石倉)

私達は昨年喜寿の級会を済ませた。一度も級替えがなかったので肉親以上の絆を感じる時がある。既に四分の一の物故者、その中の一名は初の東京空襲による犠牲者である。如何にあの大戦が私達の一生に大きな影を落としていたかの証でもある。丸山先生の先見の教育方針のお蔭で健全な肉体と高い英知を頂いた。修学旅行や校外授業、文苑作製等で得た豊かな体験は、風雪の彼方に消えた事象を今もなお鮮明に私達の記憶に蘇らせてくれる。私に關しては突然の亡き後三人の娘と生き抜いて来たがその何よりの羅針盤になつてくれたのは家計簿。それは毎月の小遣帳検査で習慣づけられた記帳が原点である。正常歩で培われた美しい姿勢も私達の宝である。今改めて第六から頂いた恩恵の数々を感謝し誇らかに健康に生きて行きたいと思つてゐる。

三田高校の前身「第六高等女学校」卒の方々のシリーズです。今回は十一回から十五回卒の方にお願ひしました。

私の近況

卒業して五十年

3-3 櫻井 明子

三田高校を卒業して早五十年が過ぎようとしています。当時はまだ戦後で何かと不足がちな時代でしたが新しい時代への期待に胸をふくらませていたのを思い出します。

社会にでて三十余年公立中学校教育に携わり、定年後は嘱託として五年間港区の教育史の資料作りのお手伝いをしました。

現在は地区の退職校長会でのお手伝い以外は家にこもり、おくればせながら日々の買い物・料理など家事に精をだし、暇をみて書の練習などをしております。

この他、現職時代には思うにまかせなかつた国内・外の旅行にもでかけています。特にここ数年は、皆既日食を追っ掛けて、パラグアイ・インド・トルコ・ジンバブエなど地球上を旅しています。世界各国の状況を現実に目にするたびにいろいろ考えさせられることが多く今日此頃です。

今回は高校の卒業回数末尾3の方に原稿をお願いいたしました。

卒業して半世紀

3-2 岩崎 園江(村松)

入学は第六高女、卒業は三田高校、六十代の最後になりましたが現在も料理研究家として料理書を作ったり自宅では料理教室をつづけています。また、食品の中では特にゴマに興味を持ち「日本ゴマ食文化研究会」という学会のお手伝いをさせていただいております。

料理教室では二十代から八十代までの生徒さん達と作って食べておしゃべりをして……。おかげで最新の流行から高齢者介護にいたるまで、居ながらにしてあふれる情報とパワーに囲まれ、原人化予防に大いに役立っています。アタマの中味も体力もおとろえてき



一九九九年八月 チロル、ゴロミテにて

ていますが山歴は五十年、今も日本、海外の山々を歩きつづけ、海外旅行も食歩きも大好き。南極大陸へ行つた時には同期生に出会って感激しました。"It's a small world" 氷上先生に習つたことばが半世紀を越えて飛び出した一瞬でした。

芝居と寄席と

23-6 滝沢 徹



多賀之丞の業突婆にゾクツとし、末広席亭北村銀太郎が客席後ろに立ち高座を見つめていたのを覚えてゐる。三田高時代はもっぱら映画、試験直後の教室から銀座に直行したものだ。そのうち生身の人間が面白くなり、寄席と舞台を片端から観るようになった。

「二階ぞめき」という唄がある。大店の若旦那が毎夜吉原をひやかしに行くのを心配した大旦那、店の二階に吉原を作ってしまった、若旦那は二階にひやかしに行くという頭がクラクラするような奇抜な唄だ。ある時、歌舞伎座三階席で合点がいった。大店なら三越程か。歌舞伎座や三越の広さからすれ

学校だより

三田高校教頭 湯澤 賢兒

この二・三年の間に、都立高校の入学選抜制度が目まぐるしく変わりました。他学区限度枠は、年々緩和され、平成十五年度には、完全撤廃されます。本校でも他学区から入学する生徒は、この三年間(十一、十二、十三年度)で、二九、三六、五四と増加しています。三田高校は、一学区の都立高校から、全都の都立高校へと変容しているところです。

入学選抜制度に限らず、今、都立高校は、様々に、改革しつつあります。その一つに、学校運営連絡協議会の設置があります。この会は、学校が積極的に情報を発信し、学校運営に保護者・地域社会の方々の意向が反映され、学校が地域に根ざし、より発展してゆくための学校支援組織です。今年度より本校でも発足しました。委員としてワカバ会の小野会長、宇野理事に出席していただいています。他に委員として、保護者、近隣の小中学校の方々の協力をいただいています。

五月二十八日に第一回の協議会を開催し、二学期以降も開催を予定しています。ワカバ会との連携を今まで以上に深め、学校運営に様々提言をしていただき、より開かれた学校を目指したいと思っています。

ば二階を吉原にしてもおかしくない。爾来、落語と歌舞伎この二つの虚構空間の中、松嶋屋秀太郎の河庄紀の国屋小春の肩の演技に息を呑み、川柳川柳の毒を楽しんでいる。

日々これ以上

53-3 青木 舞

早いもので三田高校を卒業してから半年がたとうとしています。大学へ進学したもの、代わり映えのしない毎日をのんびりだらりと過ごしている私などが、会報に寄稿するというのは甚だ場違いな気もするのですが、

何について書くかも大変悩んだのですが、大学の課外授業で観劇した能と狂言について書くかと思っています。

能や狂言、歌舞伎といった日本の古典芸能には、難しい、つまらないといったイメージがあると思います。かくいう私も目にするまではそんなものだと思っていました。

しかし、実際本物を見てそのイメージは見事に覆りました。非常におもしろかったのです。衣装や舞台は洗練されていてとても美しく、演じ手の方々の立ち居振る舞いは優雅で惚れ惚れと見入ってしまいました。

映画代と同じ位の値段で見られる回もあるので、ぜひ一度！お勧めです。

遺伝子組み換え技術は悪者？

33-7 吉田 滋樹

私は現在、筑波大学でバイオテクノロジー技術を用いた新しい機能性食品の研究を行っています。しかし、バイオテクノロジーの中核である遺伝子組み換え技術はしばしばマスメディアで悪者の如く取り上げられ、安全性や環境への影響を懸念されています。確かにこの技術は全ての生物の生態系を攪乱する危険性を含んでいますが、一方で、生物の持つ機能を最大限に生かすことができる技術でもあります。従って、講義でも単に技術的な面を教えるのではなく、研究者としての倫理観も伝えられるよう心がけています。私の大学での恩師は「自然や生命の偉大さの前では科学者は謙虚でなければいけない」とよく口にされました。私もこの言葉を忘れず、日々研究に精進すると共に次の世代を担う若い研究者を育てていきたいと思っています。



平成13年3月
留学先プラハ化学工科大にて

仕事と趣味の周辺

23-4 河島 弘美(岩井)



千葉県にある東洋学園大学で米文学の講義とゼミ、翻訳研究ゼミ等を担当し、東大教養学部でも非常勤で教えております。

翻訳は私にとって仕事であると同時に、興味の尽きない勉強、あるいは趣味のようなものです。専門の研究対象であるラフカディオ・ハーンやヘンリー・ジェイムズの作品も訳しましたが、最近おもしろかったのはスー・ハリソン作の先史時代小説——『母なる大地父なる空』(晶文社)に始まるアリュ・シャンシリーズの翻訳です。ロマンスあり冒険あり、稀に見る壮大な物語です。また一方では『小泉八雲事典』(恒文社)の執筆にも加わっています。たので、編集開始から十年を経ての昨年末の刊行にはほっとしました。

三田高水泳部の末席を汚して以来水泳を今も週一回、さらに朝夕の犬の散歩で健康維持に努めています。

小此木先生、満一〇〇歳を迎える

6-5 飯山 精三



小此木先生は、過る四月二十五日、目出度く満一〇〇歳を迎えられました。一九〇一年から、激動の二〇世紀を一〇〇年間を見続けて来られたわけですからお慶び申し上げます。

誕生日に先立ち、五〇年前の悪童三名が先生にお逢いする機会を得ました。お声の大きなこと、嘗てのそれと変わることなく、頗る健康なご様子にて、積もる四方山話に花を咲かせました。会食後の余興に滅多には見せることのない日本舞踊を披露して戴きましたが、身振りや足の運びもしっかりとしておられて力強さを感じた次第です。これからも益々お元気で、長寿を重ねていかれるようお祈りいたします。

二十三回同期会

23-4 宇野 昭生

昭和四十六年卒(二三回生) 三三〇名強の内、約九〇名が五月二十日新橋第

一ホテルに参集しました。前回の同期会は六年前でしたが、人によって卒業以来三〇年ぶりという久しぶりの再会の場となりました。



三〇年の年月で、変わり果てた？人もいて戸惑いもあったようですが、三〇分もすると昔に戻って話が弾む姿があちこちで見られました。荒井先生・土屋先生・西村先生を開んでの歓談・写真撮影、五百円玉を握つてのジャンケンゲームで大いに盛り上がりしました。三年後の次回の新幹事を決め、お開きとなりましたが、半数以上の人が二次会へと流れていました。開催通知も時代に合わせてと、受付ではメールアドレスの記入も行いました。

auno@sumibe.co.jp

関西支部同窓会

18-イ 竹山 敦子(江川)

二十一世紀最初の同窓会は六月六日、リーガロイヤル吉兆で開かれました。折からの激しい雨の中、岡山から、姫路から、そして泉北方面からも、二十五名の御出席を頂き、美味しいミニ懐石、デザートを戴きながらのゲストの方のハンガリー地方の珍しいお話などで楽しい時をすごしました。老舗の若おかみの落着いたおもてなしぶりも嬉しく、懐かしい諸先輩、お若い方達との交流に日頃のストレスも吹きとんで気分が若やぎます。会の終わり頃には雨もあがり、ほっとしましたが、皆様の貴重なおはなしや御体験等を伺う時間を持てなかったのは、申し訳なく残念です。多くの方に御参加戴ける、素敵な会になれますよう御意見、アイディアなど切にお待ちしています。

六回五組のクラス会

6-5 飯山 精三

六回生五組のクラス会が過る五月二十一日母校の地元、東京プリンスホテルに於て久々に開催されました。出席者は三〇名の多きを数え、広島市や宝塚市など遠方から馳せ参じた方も数名に及びました。又、卒業以来初めての出席という十余名の方々は、最初こそ戸惑いもあったでしょうが、直ぐに半世紀近い空白を埋めてしまったのは云

う迄ありません。思えば丁度五〇年前の昭和二十六年(一九五一年)に入学した我々も、お互い齢六十代半ばに達し、それなりに年輪は感じさせますが、出席者一同極めて元気で、気持は今なお若々しく、会場の其処彼処で旧交を温める会話が弾み、写真のフラッシュが爆めき、和やかな内にも賑やかな会となりました。四時間という、かなり長目に取った宴会時間は、あつと云う間にお開き、今後は毎年実施しましょうとのことで、全員名残りを惜しみながら、再会を期した次第です。



札幌支部だより

5-エ 臼居 和子(石川)

ワカバ会の北の果ての連絡先として長年御無沙汰致し真に申し訳なく深くお詫び申し上げます。札幌だけでも且



て二十人余の支部会員をもち年々会合も持つておりましたが次第に異動があり人数も減り寂れて参りました。何とかワカバの輪を大切に致したいと新聞に小さい案内を出し連絡を求めた事もありましたが、そのまま心を傷めつつ何年もたちました。この度会報にお願いして在札幌(北海道)会員の方は御連絡下さるようお願いする事に致しました。老齢化、身辺境遇の変化等色々ですが、府立第六、都立三田高の由緒ある同窓会ワカバの輪を大切に鎖が切れぬ様私は祈り微力を尽くしたく存じます。まとまりましたら名簿を作り、同窓の友情を温めたくよいお便りを差上げたく存じます。どうぞ御協力お願い致します。

連絡先 札幌市中央区南十七条西十二丁目二二五 電〇一一五六一一八八一〇 白居和子

級会の楽しさ

8-3 黒澤 紀子(前田)

卒後四十三年の級会でA氏に初めてお会いした。向かいに全く誰だか解らないA氏を見て私は棒縛りにあつてしまった。昔の名簿が頭の中を駆け巡る思い出せない。お名前を伺うと今度は次々と同級生A氏が頭に浮かぶ。二年間同じ級だった事も思い出して忘れていた事を深く反省する。若い時の記憶は忘れぬ。一方老いて何かを覚える事は何と困難か。毎日顔を合わせていた

同期会、クラス会、支部会など、OB会、お集りならなんでも結構です。楽しい原稿を是非お寄せ下さい。

A氏の記憶を、四十三年の年月は一体何処へ閉じ込めていたのか。お名前と共に押し寄せて来たA氏の思い出は何処から来たのか。級会で久しぶりに会う友と語り合う一時は楽しい。心踊る。そんな気持ちになる。因は平常閉じ込めていた記憶を呼び覚ます事にあるのかも知れない。この日はA氏から四十三年の遠い日を呼び覚まして頂いた事になる。



二十四回生

卒業三十年同期会の開催

24-5 守屋 洋

昭和四十七年卒業の二十四回生は、卒業三十年を機に初夏六月九日、半蔵門ダイヤモンドホテルにて同期会を開催しました。森本静子先生、白石克己

先生、田代久人先生、新二郎先生をお迎えし、同期生三三四名中一二二名が出席、内六割以上が女性という、三田高校ならではの同期会風景となりました。

会は、吉田重義、榎戸(旧姓野中)洋子の名コンビによる司会のもと、幹事長の石黒祥隆の開会挨拶に引き続き、先生方から当時の思い出と近況のご報告をいただき、元氣印ナンバーワンの安達(旧姓西中)佐和子の乾杯の発声によって懇親会の幕が開けられました。

懇親会で

は、「三田高思い出クイズ」で盛り上がり、あちこちで出合いの歓声が上がる中、予定の三時間はあっという間に過ぎ去り、最後は体育会系の木村隆興によるエール交換により、一回再会を期してお開きとなりました。

三田高校24回生卒業30周年同期会



三田高校OBオーケストラ 第十回定期演奏会報告

44-8 甲斐 順也

三田高校OBオーケストラ第十回定期演奏会が去る六月九日、大田区の大田区民プラザ大ホールで盛大に行われた。三澤寿喜氏(元三田高校音楽教師)の指揮による合奏協奏曲(ヘンデル作曲)は、バリックの心地良い調べで五十一名の聴衆を魅了した。一方、鴨志田達哉氏の指揮による有名な交響曲「新世界より」(ドヴォルザーク作曲)では、タクトを持つ氏の手にも一層力がこもり、ダイナミックな演奏が聴衆の心を掴んだ。恒例となった休憩時間に行われる団員の手作りお菓子とお茶のサービスも大好評。アットホームなコンサートとなった。

「心が洗われました。身近な所で、プ口級の演奏が聞けたこと嬉しく思います。(60歳・主婦)」「迫力があつてすごかったです。(16歳・高校生)」など好評を博した。

団長談話―五百名を越すお客様にお越し頂き、誠にありがとうございます。この第十回定期演奏会を一つの節目として目指して参りましたが、名実ともに盛大な演奏会とすることが出来しました。次回より、心も新たに「三田フィラルハーモニーオーケストラ」と団名を変え、更に皆様に親しまれるオーケストラを目指して参ります。今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

情報ひろば

◆北九州市立松本清張記念館

ミステリーから日本史の発掘まで数多くの作品を残した戦後日本文学界の巨匠・松本清張が、どのように時代とかかわり、人生をまっとうし、どんな環境で作品を生み出して行ったかが一目でわかる特異な文学館。

作家に最も信頼され長く仕事を共にした編集者の藤井康栄さん(5-3)の立案によって誕生した。JR小倉駅に近い小倉城址公園の一角にあり、静かな喫茶店も併設。館長の藤井さんは同窓生の来館を歓迎している。

会館3周年記念特別企画展:

「松本清張と風間完ー風間完挿絵原画展」

風間画伯の原画をデジタル技術でアニメ化したオリジナル映像「点と線」上映中。

開催期間:2001年8月1日~10月31日

入場料:一般500円

開館時間:9:30~18:00

問合せ:TEL 093-582-2761

FAX 093-562-2303

ホームページ: <http://www.kid.ne.jp/seicho>

田村和子(10-5)

◆高校7回生同期会のお知らせ(昭和30年卒)

21世紀最初の同期会を新宿で開催します。くじ引きもあり楽しい昼食パーティですのでぜひご出席下さい。各自に往復ハガキでご案内します。

日時:2001年(平成13年)12月1日(土)

午後2時より

会場:新宿マイシティ8F宴会場

(JR新宿駅ビル内)

新宿区新宿3-38-1 TEL03-3352-8421

会費:8000円(通信費込み)

連絡先:中村左都子(7-2)

TEL&FAX 03-3481-0823

◆第30回 加藤恭二子先生ソプラノリサイタル

日時:2001年11月25日(日)

午後3時開演

場所:トッパンホール

文京区水道1-3-3

TEL 03-5840-2200

飯田橋下車13分

チケット代:4,000円

当日券あり、あらかじめ申込みをなさりたい方は

三田高校戸田雅子(19-1)

FAX 03-3453-2899まで

チケットを用意します。

(お代は当日、受付へ)



◆三田フィルハーモニーオーケストラ

第11回定期演奏会

日時:2002年6月8日(土)

開場/開演時間未定

会場:大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線下丸子駅前)

指揮者:鴨志田達哉氏(当団常任指揮者)

管弦楽:三田フィルハーモニーオーケストラ

(旧三田高校OBオーケストラ)

曲目:ベートーヴェン

交響曲第5番ハ短調作品67「運命」ほか

皆様のお越しを団員一同、心からお待ちしております。

団員募集のお知らせ

当団では、現在私たちと一緒に演奏してくれる仲間を大募集しております。高校在学中のクラブ、年齢などは一切問いません。どうぞお気軽に見学にお越しください。詳しくは、代表までお問い合わせ下さい。

問合先:甲斐順也(44-8)

TEL 03-3456-8702

OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	大室様方 アメフト部後援会気付	047-364-7514
ラグビー	永井 太郎	15-3	358-0054	松戸市松戸新田 443-25	0429-32-8060
バドミントン	高木 俊輔	48-3	361-0022	入間市野田 921-1	
弓 道	石井 健一	42-8	144-0052	行田市桜町 1-24-1-103	3732-4960
管弦楽(室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0022	大田区蒲田 3-10-5-302	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	港区海岸 2-5-15-205	3733-1326
水 泳	井上 優子	51-3	144-0045	大田区仲六郷 4-13-10-106	3737-0480
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	大田区南六郷 2-35-3-409	0298-76-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	稲敷郡荏岐町自由が丘 430-12	5448-9065
				港区高輪 2-1-11-611	

わかバ会行事に参加して

古都鎌倉の

新しい魅力を探る(1)

2/4 折橋佳津子(深野)
2/4 鎌田 重子(足立)



春の一日、江の電長谷駅で下車し、少し歩いて先ず着いた環境の鎌倉能楽堂に行き、館長の中森晶三先生に目にかかり、「能、歌舞伎、文楽の三大演劇の存在が、海外の芸術にもおとらぬ文化における超大国の面目を保っている。」等、貴重なお話を伺いました。お稽古中にもかかわらずお時間を作って頂き、恐縮致しました。

鎌倉文学館の広々とした洋風庭園を眺め展示品の数々を拝見後、各自昼食。午後大巧寺、妙本寺に詣で、満開の桜、海棠をめで、豊島屋に立ち寄り、久保田社長の「伝統とは革

新の連続で、遊び感覚をとり入れ、初めて『シニセ』と言えるのではないか?」等、感銘深いお話を拝聴しました。天候にも恵まれ有意義な一日を過ごし、先生、企画の方々、訪問先での数々のご好意に感謝しつつ帰路につきました。(平成十三年四月五日実施)

第八回ゲーム大会に参加して

13/3 岡村 博子(田中)



六月六日、関東地方梅雨入りの日、午前十一時半より午後四時まで、二十四人の参加で、愉しく爽やかに卓を囲みました。



お世話をしてお下さる中村左都子様(7-12)が、お忙しい御身分であり乍ら、涼やかに、そして心温かく四方八方に御気を遣って下さり、参加者一同ホツとした気持ちにさせて下さいました。

ワカバ山荘は南軽井沢の、自然に恵まれた別荘地にあります。朝は鳥の聲が目覚まし時計で、普段よりも早く起きてしまうほど。それでも涼しいので熟睡しているせいか、目覚めはすっきりなのですが。夕食時のヒグラシの声も、「録音したのを流しているんですよ」というアルバイトのお兄さんの冗談を真に受けてしまうほどの大合唱です。周囲のアウトレットや温泉など、軽井沢観光の足場にも良い場所です。

ワカバ山荘のスズメ

44-1 吉原ひろみ

一位 岡村博子 (13-3)
二位 秋山美智 (会員友人)
三位 中村左都子 (7-12)
ワカバ会賞 中島久子 (7-12)
B・B賞 遠藤久子 (会員友人)
(平成十三年六月六日実施)

ました。ゲームも愉しかったのですが、中村様を中心にした輪の中にいることが出来ました私にとりましては、何よりも嬉しく有難いひとときでした。

そして何よりも嬉しいのが、山荘の方々の温かいおもてなしでしょう。繊細で手の込んだ食事は大満足です。まずし、お部屋や洗面所も掃除が行き届き、いつも気持ちよく使えます。どんなに忙しくても全員でお見送りしてくださる、毎年足を運びたいくらいです。こんな素敵なワカバ山荘、利用しないのはもったいないですよ。



一生歌える発声法!

20-1 萩原真裕美(降屋)

山荘に五時過ぎ到着。若やいだ弾んだ話声が溢れていた。主人と二人で去年に続いて二度目の参加。歌うのが大好きでコーラスグループや聖歌隊で

指導者の言うように発声しようとしていたうちに声が段々通らなくなってしまう。一人で気楽に歌うと気持ちよく歌えるのに……。去年思い切つて参加して、一生歌えて健康に良い発声法の手ほどきを受け、悩みは消えていった。主人も趣味の詩吟にもいかせるので楽しく参加している。

夕食で簡単な自己紹介、世代を超えた友情を築く。七時過ぎから十時近く

まで、休憩を挟んで、発声法を主に、「セレナーデ」「世界は二人のために」など歌っていき、最後に加藤先生に独唱していただいた。先生、皆様有難うございました。来年も宜しくお願い致します。(平成十三年七月三十日実施)

ゴルフの拡がり

8-3 吉野 茂



頑なに拒み続けたゴルフを本社勤務を機に入門せざるを得ない状況になっていった。朋友に誘われるまま山荘へ赴き、夕べのコンパの楽しさから以後十年近く参加している。当初の数年はコンペに参加出来ず専ら帰路の運転係。今は亡き高橋先生も山荘を愛され、私とは卒業以来の再会で、昼間の暇潰しに2シーズンに亘って周辺探訪に同乗された。この時の鮮明に残る反省点が二つ、一つは毎回昼食を共に摂らなかつた事。二つ目は七十歳の先生に手を引っ張られ

て白根山の神秘的な火口湖を覗いた事。最近ではコンペにも参加を許され、アスナロと日々研鑽の甲斐もなく、同期の某君とビリ争い。然し私にとつてのゴルフはビバ!ビバ!!で、健康生活に、交友の輪の拡がりにと、年金と出費のバランスに若干の問題がある以外、文句なしのスポーツです。

わたしの選んだ万葉集歌

8-7 松永登茂江(森)

九月九日(日) 母校で、講師は、戸田雅子先生です。

初めに、先生は日比野五鳳の展覧会の目録から、この書家が万葉集の歌を多く書作品にしていることに注目、どんな歌を選んでいるのか興味を持ったということから話されました。

そして、「万葉集成立まで」「万葉集に使われている文字」「万葉集の諸本」などについて資料をもとに話され、歌に入りました。

戸田先生の選ばれた歌は「月」で、沢山の月の歌の資料の中から、月そのものを歌ったもの、過ぎ去る年月として歌ったものなど、いろいろな歌われ方をして例を示されました。

尚、最後は、パソコンの時代に、文字を書くということはどうなっていくのかという話題で盛り上がり、楽しく時間オーバーしてしまいました。

(平成十三年九月九日実施)

第十八回ゴルフ会に参加して

14-1 永田かほる(伴)

初出場の前はベテランお姉様方にアドバイスを頂きながら無我夢中でラウンド致しましたが、今回は午前中は霧、午後は雨という悪コンディションの中で、誤球や三回の池ボチャなどとてもお恥ずかしいスコアで反省しきりでしたのに、なみいる先輩をさしおいて優勝と聞いた時は本当にびっくり致しました。偏にハンディの賜物です。プレーの後はどしゃ降りの中をワカバ山荘に移動し、パーティの中での表彰式で生まれて初めて優勝カップを手にして感激しました。朝食サービス様の心尽くしの御馳走と諸先輩の素晴らしい御高説を拝聴し人生経験をなお一層深め楽しい一時を過ぎて頂きました。



優勝記念に買い求めましたドライバーで来年こそは100を切るスコアで上がりたいと思います。幹事の山口様をはじめゴルフ会に御尽力の皆様に深く感謝いたします。(平成十三年九月七日実施)

これからのワカバ会行事(募集中)

<古都鎌倉の新しい魅力を探る②>

～第5回ワカバ会小さな旅～

期日：2002年4月5日(金) 午前10時30分

集合場所：JR横須賀線の鎌倉駅(東口)

見学場所：鶴ヶ岡八幡宮(昇殿参拝あり)

銭洗弁天他 定員：30名

講師：中村 實先生(東北文化学園大学教授、

専門：観光学&交通論、鎌倉明治会副会長)

参加費：3,500円(保険料・参拝費・資料費)

昼食は各自随意のため含まれません。

申込締切：2002年3月20日(水) ワカバ会事務局まで

委員会報告

総務委員会

本年度も五月二十日に第64回総会が無事終了いたしました。

今年は事務局員を『わかば』春号で募集しました。多数の応募があり、皆様のワカバ会への多大な関心を感謝しつつその中から三名を採用いたしました。今回の採用は事務局員三名が退職された為です。

総会に対するご意見など事務局を通してお寄せ下さい。

委員長

竹内 和世(5-4)

瀬戸 武虎(9-2)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

総会報告

第六十四回ワカバ会総会は、五月二十日(日)正午より午後三時まで母校音楽講堂で開催されました。

本年は定足数百名に對して、百三名の会員、十二名の客員の出席を得ました。

会長挨拶では、ワカバ山荘運営の厳しい現状を表白し、会員の更なる利用の要望がありました。

続いて平成十二年度事業報告・決算報告が承認され、平成十三年度事業報告も満場一致で承認されました。今年度は二年に一度の評議員改選に当たり、会場より「会長一任」の声があり、全員の拍手をもって議事を終了しました。なごやかな懇親会は毎年変化のある



食事をたのしみながら恒例の福引大会のたのしい雰囲気に移行し、各種カードの賞品に歓声が沸き、たちまち定刻を迎え閉会となりました。

平成12年度決算・平成13年度予算

科 目	平成12年度 決算額	平成13年度 予算額	科 目	平成12年度 決算額	平成13年度 予算額
I. 収入の部			II. 支出の部		
① 基本財産運用収入	857,689	855,000	① 事業費	14,845,682	14,490,000
② 会費・入会金収入	9,431,000	9,910,000	② 管理費	7,180,218	7,055,000
③ 事業収入	4,362,695	4,400,000	③ その他支出	1,165,711	390,000
④ その他収入	6,819,283	6,770,000			
当期収入合計 (A)	21,470,667	21,935,000	当期支出合計 (C)	23,191,611	21,935,000
前期繰越収支差額	66,607,674	64,886,730	当期収支差額(A)-(C)	△1,720,944	0
収入合計 (B)	88,078,341	86,821,730	次期繰越収支差額(B)-(C)	64,886,730	64,886,730

理事会報告

平成十二年度九月より

平成十三年度六月

理事会について

今回より理事会のあり方と主たる内容について報告いたします。

はじめに、理事会は原則として二ヶ月に一回、総会前は毎月、年に七、八回開かれます。会議は午後六時半から始まり、八時半頃まで、時によつては九時過ぎることもあります。

理事数十六名で過半数の出席が必要ですが、約二、三名の欠席で常に成立しています。

毎月各委員会別に報告、提案、検討しますが九月は主に山荘の利用状況報告。十一月はワカバ会慶弔規定、新入会員の記念品について。平成十三年一月は総会の日程、事務局パソコンについて。三月は総会準備、山荘予定。四月は予算決算、広報発行。六月は総会反省や事務局の体制、山荘の修理等でした。

本年度は理事の交替がありました。



企画委員会

当委員会では、ワカバ会員の皆さんの輪を大切に、バラエティに富んだ企画行事を実施しております。

四月には「小さな旅」、六月には「ゲーム大会」、秋には講座ものあれこれ等々。毎年参加者も増えております。十四年度も新企画を計画中です。

委員長 中村左都子(7-2)

桐生 郁子(4-1)

戸田 雅子(19-1)

事業運営委員会

軽井沢山荘はアンケート結果をもとに、施設、食事共に改善を致しましたところ、昨年は久しぶりで前年を上廻る六三一名の利用者がありました。しかし昨年、昭和五七年の開荘以来十年間千名以上(最高は一七〇四名)あった時とは比べくもありません。運営費が収入の倍以上で、四百万円余りの赤字を本会計より補填しております。本年の状況によつては、近々休館又は閉鎖の措置を取らざるを得ません。皆様のご理解をお願い致します。

また、大田区鶴の木に貸駐車場がありますのでご利用下さい。

委員長 山口謙一郎(8-1)

竹内 和世(5-4)

後藤眞理子(19-7)

会計委員会

日頃維持会費の納入にご協力頂きまして有り難うございます。ワカバ会は基本財産、維持会費、山荘及び駐車場事業等からの収益により運営されておりますが、主柱である維持会費は現在でも約四分の一の会員が納入されているに過ぎません。維持会費の増収が財政の安定とワカバ会の活性化には是非とも必要です。今後とも会費の納入にご協力下さいますようお願い致します。

委員長

笠原 俊也(15-4)
茨木 万理(19-1)
平山 孔嗣(29-2)

広報委員会報告

毎年、この広報誌『わかば』の発行を年二回行っております。なお、この秋号より新理事田村和子さんに広報委員として編集に参加していただきました。

委員長

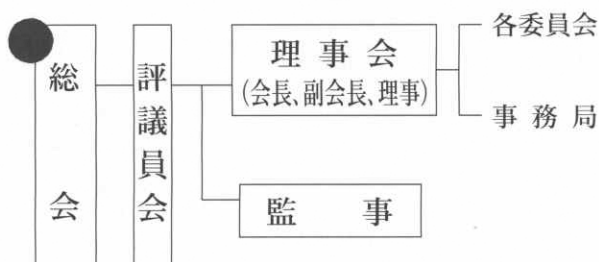
田中 浩(32-5)
田村 和子(10-5)
津田 一哉(32-8)

御寄付御礼

。第六高女4-ア(故)太田智子(杉本)様御遺族様から一万円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

。第六高女7-ウ(故)由井照江(岡)様御遺族様から一万円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

<ワカバ会の組織>



平成13年度 評議員

鈴木 文子(恒石)4-イ、鈴木むめ子(石井)5-ウ
馬場百合子(板沢)6-ウ、松崎富士子(宗)7-エ、
山本 悦子(深野)13-ウ、井上美砂子(深井)14-ウ、
斎藤登美子(小川)16-ウ、西五辻静子(西五辻)18-エ
青木 久子(永井)19-オ、沢野美奈子(柳)1-2
白井 愛子(波田野)3-1、渡辺 麗子(三田)3-6
渡辺 和子(横田)4-3、藤井 康栄(大木)5-3
仲村 順二 5-3、大木安喜子(関本)5-6
田中 廣實 5-6、川並 光昭 6-5
齋藤 節子(平田)7-3、小川しげみ(山田)7-7
佐藤 輝行 8-1、亀崎 健 8-2
山下 輝雄 8-2、井出 圀子(鮫島)8-3
鳥居 恭子(梅田)8-5、橋原 晴実(出口)9-2
手塚 愛子(伊豆村)10-5、日賀田武蔵 11-5
中島 紀子(今村)11-7、南原 久子(美濃部)11-7
山内由加子(小関)12-6、佐々木蓉子(佐々木)14-2
榎本 良輝 15-4、銅谷 志朗 15-6
坂井 靖男 16-2、井上 次子(橋爪)16-3
関根 健之 17-6、斎藤 信行 18-3
花蔭 進 18-3、北村 孝司 18-7
佐藤 芳子(藤田)19-2、阿部 裕行 19-4
岡山 陽子(森本)20-3、丑山 孝枝(鈴木)21-3
松藤 みち 21-3、原田あけみ(佐野)22-2
柳澤 孝子 22-2、酒井 秀夫 22-6
三輪田 真 22-6、平松佳代子(野村)23-5
旭 茂 25-2、高橋誠一郎 25-2

酒井 寛昭 25-5、坂本明日香(広瀬)26-2
吉沢百合子(西田)26-6、井上 里佳 27-4
佐藤 裕彦 29-3、岩田 辰也 29-4
山本 まみ 31-6、渋谷 千春 32-3
渡辺由里子 33-3、石野 恵美 33-5
中村 和彦 33-8、島津 雄介 35-4
吉仲 理恵(倉重)35-4、渡辺 修 37-7
黒坂みち子 38-4、小針 淳 40-3
星野 義明 41-6、田中 道朗 42-3
金子優里子 52-3

平成13年度 理事

茨木 万理(茨木満璃子) 19-エ
桐生 郁子 4-1、若菜 允子 5-4
竹内 和世(松本)5-4
中村左都子(本多慈子)7-2
山口謙一郎 8-1、宇野 修平 8-2
小野 紘一 8-3、瀬戸 武虎 9-2
鈴木美智子(水野)9-3、田村 和子(大脇)10-5
笠原 俊也 15-4、戸田 雅子(宮崎)19-1
後藤眞理子 19-7、平山 孔嗣 29-2
田中 浩 32-5

平成13年度 監事

寺西千鶴子(吉田)17-5、市倉 信義 22-6

<敬称略。()内は旧姓・旧名>

この度、

5-ア 佐々木 昭(佐々木)様
12-エ 松永佐智子(田端)様
16-オ 杉本貴久子(佐藤)様

が理事を退任されました。
長い間お世話になりまして、
誠にありがとうございました。

宮畑栄夫先生追悼

1916 棚田 実



永い間、我々を厳しく、優しく、大らかに指導下さいましてありがとうございます。どうぞ天国のプールで、我々が学生の時、挑戦して勝てなかった、すばらしい泳ぎを楽しんで下さい。

今から五、六年前、毎年恒例の水泳部OB新年会の折、我々の目から見て、先生のお身体に何か変化が起きていると感じ、検査をおすすめした時のことを思い出します。しかしさすが先生に直接申し上げることはばかり、奥様にお願ひしようとお電話を差し上げたところ、直接電話口には先生がお出になりうろたえましたが、意を決して「パーキンソン氏病」の検査をおすすめしましたところ、最初は「アルツハイマー」と勘違いされて笑っておられました。その後検査を受けて頂きました。四年前の水泳部OB会二十五周年の時に先生がお話の中で「人生には上り坂、下り坂そしてまさか」と言う坂がある」と、まさか自分がこの様な病に見舞われるとはと、冗談を交えてお話ししました。

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

		所属	逝去年月			所属	逝去年月
宮畑 栄夫		旧職員	平成13. 5	米山 和子 (椎津)		12-ア	13. 3
長雄 新一郎		旧職員	12. 11	小笠原 悌 (添田)		12-ア	12. 2
小池 豊子 (三木)		1-C	13. 4	斎藤 裕子 (鈴木)		12-イ	13. 10
廣嶋 まつ (高木)		2-D	13. 3	廿楽 幽香子 (本多)		13-ア	13. 5
柳瀬 禎子 (片桐)		3-A	13. 5	佐藤 ヨネ子 (浅海)		13-イ	13. 3
今田 栄子 (杉本)		3-C	13. 1	荒牧 富美江 (松田)		14-ウ	12. 8
太田 智子 (長岡)		4-ア	13. 1	スロ-ソン 偕子 (伊勢)		15-ア	13. 4
松尾 範子 (岡野)		4-イ	12. 3	佐藤 ヒデ		15-イ	13. 5
野口 美津枝 (鈴木)		4-ウ	13. 3	石原 満喜子 (鈴木)		15-オ	12. 11
後藤 雪江 (津田)		5-イ	12. 8	伝田 由 (鈴木)		17-イ	13. 7
甲斐田 徳枝 (駒井)		5-ウ	13. 2	砂山 ナツ子 (石井)		17-エ	13. 7
宮沢 喜美子 (角)		6-ウ	13. 3	八田 美知子 (田村)		19-ア	12. 3
林 キヨ		6-エ	3. 3	斎藤 映子 (長島)		19-オ	12. 12
神山 八重子 (岡)		6-オ	13. 6	喜多村 玉江 (星野)		20-イ	13. 3
由井 照江 (角)		7-ウ	13. 2	清子 (久保田)		22-オ	11. 5
亀野 キヌ子 (北村)		7-エ	12. 10	福田 和子 (佐賀)		2-1	12. 10
大垣内 静		8-イ	12. 12	橋本 演子 (修)		4-4	12. 5
日野 百合子 (多田)		8-イ	13. 1	廣瀬 絢子 (兼治)		4-6	13. 1
大林 絢子 (松田)		8-イ	13. 3	古川 修 (田中)		8-1	4. 5
石橋 芳子 (渡辺)		8-イ	13. 4	林 光紀 (森本)		8-2	13. 6
竹内 露子 (鈴木)		8-ウ	13. 3	今田 富江 (田中)		9-2	13. 2
矢矧 コト		8-エ	13. 2	武田 正弘 (森本)		9-5	12. 7
上野 喜代子 (白柳)		8-エ	13. 6	中島 洋子 (森本)		14-4	12. 7
厚東 桜子 (辻)		9-イ	13. 4	甲田 直也		19-4	23-3
藤幡 邦子 (大木)		9-イ	13. 3	相原 久仁子		22-7	25-5
藤野 正子 (川口)		9-オ	13. 3	石川 精一		23-3	30-6
正村 絹子 (大江理恵)		10-イ	11.	清水 国彦		25-5	30-6
小飼 明子 (福沢)		10-ウ		山本 延夫		30-6	
松島 堀越		10-エ				30-6	
		11-ウ					

支部連絡先

札幌	5-エ	白居 和子	〒064-0917	札幌市中央区南17条西12丁目-2-25	011-561-8810
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
さいたま	18修オ	中村 泰子	〒336-0014	さいたま市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	19-ウ	越村 苗子	〒251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷3-5-21	0466-23-5441
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	18-イ	竹山 敦子	〒560-0003	豊中市東豊中町4-1-45-509	06-6849-5222
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

三田・みる・スポット

MITA-SPOT

時代劇のような名前の大江戸線（都営地下鉄）の知名度は今ひとつの感じですが、三田高校のすぐ近くに駅ができて便利になりました。赤羽橋駅です。赤羽橋交差点の南西の角にある出口で地上に出て田町の方へ歩くと3分ほどで済生会病院、三田国際ビル、三田高校のあたりに行けます。また出口から反対方向へ交差点を渡った斜め前は芝公園です。公園には小川も流れていて紅葉が風に揺れる都心の小さな秋といった風情があります。もちろん東京タワーへも真近。ここまでいらしたら、秋から冬の晴れた日に是非展望台まで登ってごらん下さい。三田高校は真下に見えます。そして、山梨や静岡からは見えるのが当り前でも東京からは見えることに意義がある富士山を見つけて下さい。丹沢山塊の上には一人だけ早々と白い帽子をかぶってピョッコリのぞいている、気高く、それでいて何故か可



愛い存在です。オススメは冬の晴れた日の夕方。丹沢の左の箱根連山の後ろに太陽が沈んだ直後、空全体が3色のグラデーションに染まる瞬間です。(東京タワー：営業9時～20時。無休。Tel 03-3433-5111) (K)



ワカバ会駐車場

(所在地：大田区鵜の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、どうぞご利用下さい。
駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局まで
お問い合わせください。

編集後記

『わかば』はいつも頂いたまま、余り読まない
悪い読者だったのが、いきなり編集に参加し不
安でしたが、事務局の方々の手慣れて、心配り
の効いた作業に感心しました。新しい味付けの
秋号いかがでしょうか。さらに読みやすく内容
ある広報誌を目指します。(和)

🔵 在学中はとても長く感じられた田町駅からの通学路。近頃は、来る度に変貌してゆく三田の街並みに感慨を覚えながら、のんびりと楽しく歩いていました。でも、都営大江戸線が母校の近くに開通し、ささやかな趣味もこれまでに。芝公園で散歩を楽しむのは、もう少し後までとっておくことにします。(Ts)

◆ 今回の『わかば』は会長インタビューをはじめ、今までとは少し違った趣になったと思います。原稿を送ってくださった方々に心より感謝いたします。また、今回広報委員の村木真知子さんが事務局に移られました。今後ともよろしくお願いいたします。(Ta)

ワカバ会軽井沢山荘

ワカパ会軽井沢山荘を今年度もご利用いただき誠にありがとうございました。しかし人数の面では昨年よりさらに減り、このままでは赤字が続く、営業が困難になります。このため理事会では、新たに山荘委員会を組織、またワカパ会のホームページやEメールを立ち上げて広く会員の皆様のご意見を募り、今後の方針を決めることにしています。是非皆様のご意見を事務局までお寄せ下さい。

事務局だより

◆今年も維持会費のご納入ありがとうございました。ご協力に感謝申し上げます。また理事会の決定により、今号より秋の会報にも払込取扱票を同封いたしました。まだお納めいただいていない方は、是非ご利用下さい。また既にお納めいただいた方にはご容赦下さい。

◆前号(13年春号)に同封の住所不明者名簿をご覧になった会員の皆様から、ご友人の新しい住所を多数お知らせいただきました。厚く御礼申し上げます。

◆クラス会、同期会の幹事の方には名簿、宛名プリントアウト（有料）を承りますのでどうぞご利用下さい。

◆事務局長 宇野修平氏（8-2）、事務局員の大関理恵さん（39-2）、田中縁さん（43-4）が退職されました。長い間ワカバ会のために勤めていただきました。ありがとうございました。